

第9章 各島実施報告

第1節 伊平屋島

第1項 取り組み概要

既存事業者と連携した島の自然・集落を活用したプログラム開発や新しいガイド発掘に取り組んだ。また、昼食には食事施設と連携し特別ランチを提供するなど、伊平屋島の食を活用しモニターの満足度を高めるための取り組みも行った。

第2項 造成プログラム一覧

- 1 自然の造形美と沖縄の原風景を撮る～「てるしの」の島のスポット散策～
- 2 伊平屋島海人体験～夜の海(イザリ)漁体験～
- 3 沖縄の野草を再発見！野草収穫と料理体験
- 4 腰岳林道散策(島のスイーツを休憩で食べる)
- 5 エメラルドの海からの恵み～伊平屋島で塩づくり体験～
- 6 島時間を満喫～島のガイドとぶらり集落さんぽ～
- 7 美しい海の恵みを満喫！ミネラルたくさんの島マースづくり&ゆし豆腐づくり
- 8 島の自然の恵みがギュッと詰まった本格ピザづくり体験

第3項 実施ツアー一覧

＜参加者合計：253名(1名)＞

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
自然の造形美と沖縄の原風景を撮る ～「てるしの」の島のスポット散策～	16/11/04(金)	2泊3日	民宿	10名	11名
	17/02/24(金)	2泊3日	民宿	10名	21(1)名
伊平屋島海人体験 ～夜の海(イザリ)漁体験～	16/11/13(日)	2泊3日	民宿	10名	10名
	16/12/13(火)	2泊3日	民宿	10名	10名
沖縄の野草を再発見！ 野草収穫と料理体験	16/12/14(水)	2泊3日	民宿	10名	6名
	17/01/10(火)	2泊3日	民宿	10名	8名
腰岳林道散策 (島のスイーツを休憩で食べる)	16/10/24(月)	2泊3日	民宿	40名	14名
	16/11/14(月)	2泊3日	民宿	40名	20名
エメラルドの海からの恵み ～伊平屋島で塩づくり体験～	17/01/19(木)	2泊3日	民宿	30名	8名
	17/02/08(水)	2泊3日	民宿	30名	17名
島時間を満喫 ～島のガイドとぶらり集落さんぽ～	16/11/04(金)	2泊3日	民宿	30名	23名
	16/12/17(土)	2泊3日	民宿	30名	36名
	17/01/06(金)	2泊3日	民宿	30名	18名
美しい海の恵みを満喫！ ミネラルたくさんの島マースづくり &ゆし豆腐づくり	17/02/25(土)	1泊2日	民宿	20名	23名
島の自然の恵みがギュッと詰まった 本格ピザづくり体験	17/02/23(木)	1泊2日	民宿	20名	10名
	17/02/25(土)	1泊2日	民宿	20名	18名

※表中の()内は助成対象外の内数

第4項 ツアー概要

1. 自然の造形美と沖縄の原風景を撮る～「てるしの」の島のスポット散策～

ツアー紹介文：

昔の沖縄の原風景が残る伊平屋島の海や山、集落を散策しながら撮影スポットを巡ります。普段の喧騒を忘れて、のんびりと島を廻りながらの撮影は、まさに贅沢な時間です。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	伊平屋村内観光
	16:30	宿泊先着、チェックイン
	19:00	夕食 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	9:00	朝食 【モニタープログラム】 自然の造形美と沖縄の原風景を撮る～「てるしの」の島のスポット散策～
	12:00	終了 昼食 会場：海産物料理 海漁
	13:00	フリータイム
	18:30	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了、宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)
	3 日 目	朝食、チェックアウト 【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食	
13:00	前泊港よりフェリーにて出発	
14:20	運天港到着、解散	

実施写真：



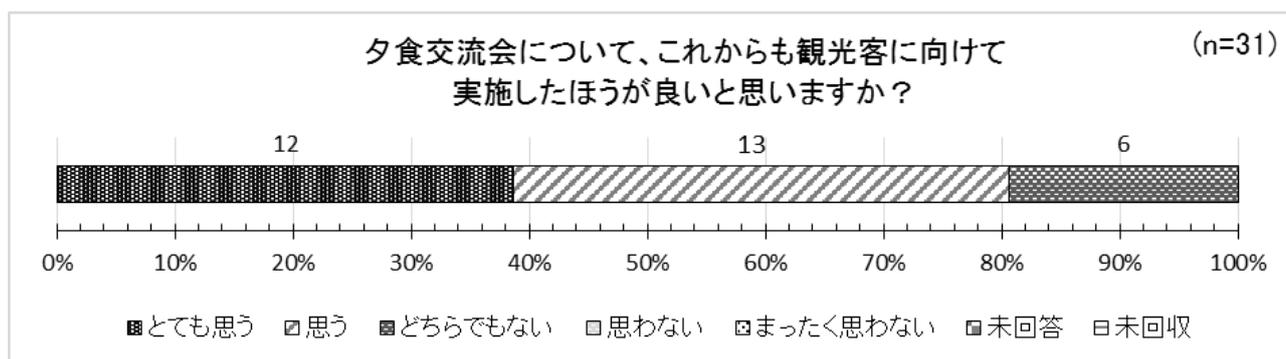
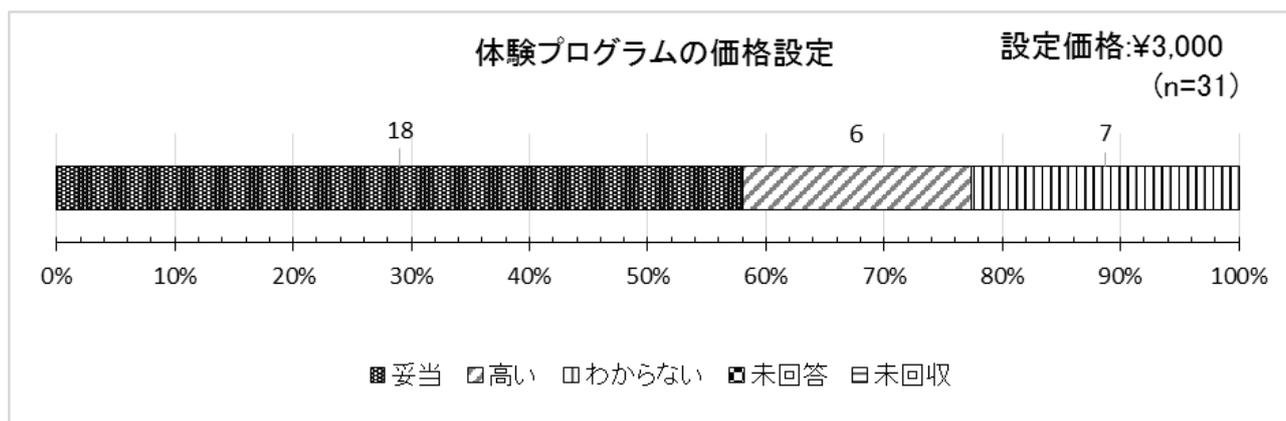
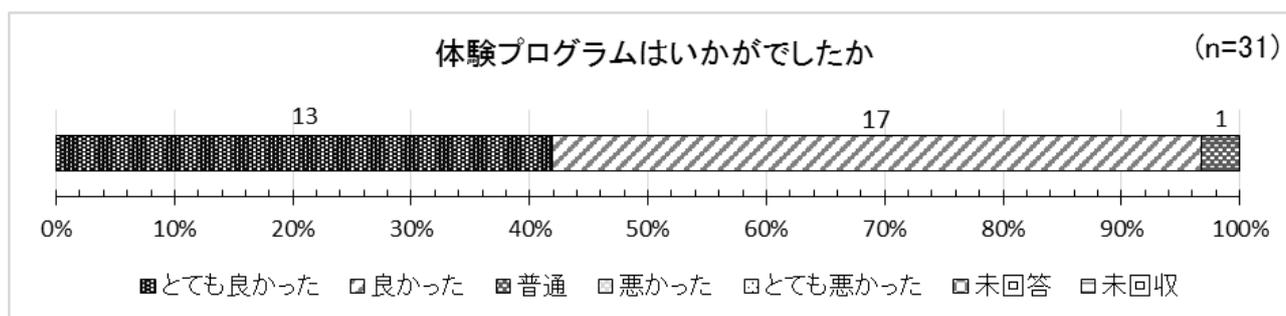
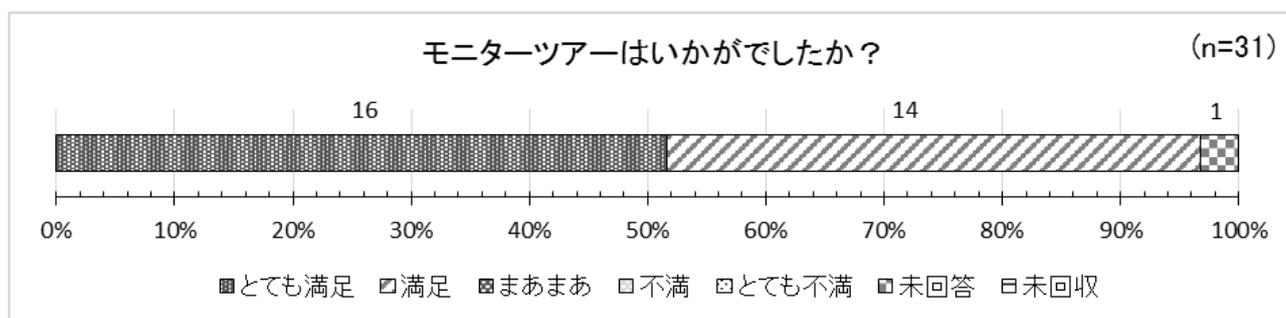
■成果

- ・伊平屋島の集落を活用し、伊平屋島の文化や歴史に触れる事ができるプログラムとなった。
- ・ガイド育成に繋がった。

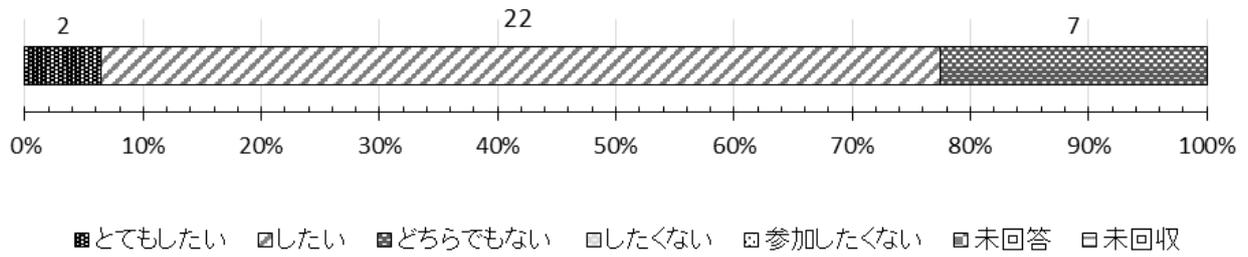
■課題

- ・プログラム実施時間が短いとの声やプログラム定員が多過ぎるのではないかと、との声があがっていたため見直しが必要かと思われる。
- ・途中で立ち寄るトイレの整備について要望があがっていた。

モニターアンケート結果：

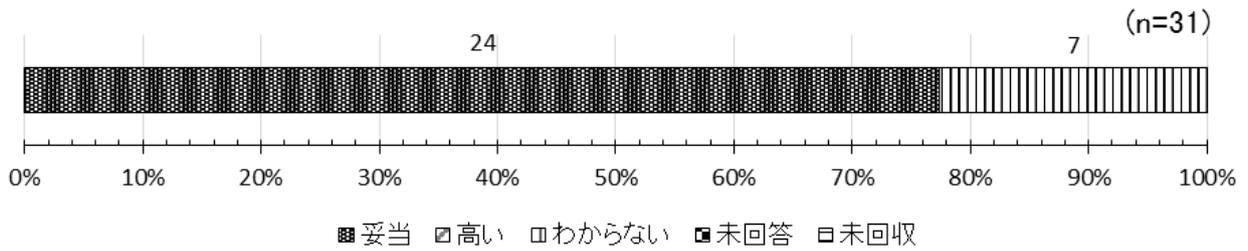


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=31)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000



2. 伊平屋島海人体験～夜の海(イザリ)漁体験～

ツアー紹介文：

闇夜の海を懐中電灯の明かりを頼りに、夜の海を散策しながらテナガタコ獲りを行います。タコの他にも、伊平屋の海には生き物がいっぱい。普段はなかなか体験できない夜の海での海人体験は、伊平屋島ならではのです！

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	伊平屋村内観光
	16:30	宿泊先着、チェックイン
	19:00	夕食
	22:00	【モニタープログラム】 伊平屋島海人体験～夜の海（イザリ）漁体験
1:00	終了、宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)	
2 日 目		朝食 フリータイム
	12:00	昼食 会場：食事処みなと フリータイム
	19:00	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了、宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)
3 日 目		朝食、チェックアウト
	9:00	【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



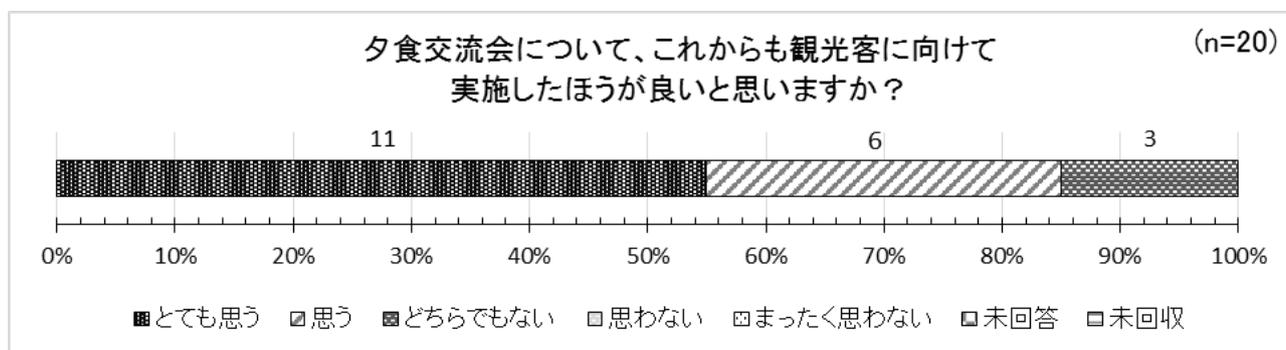
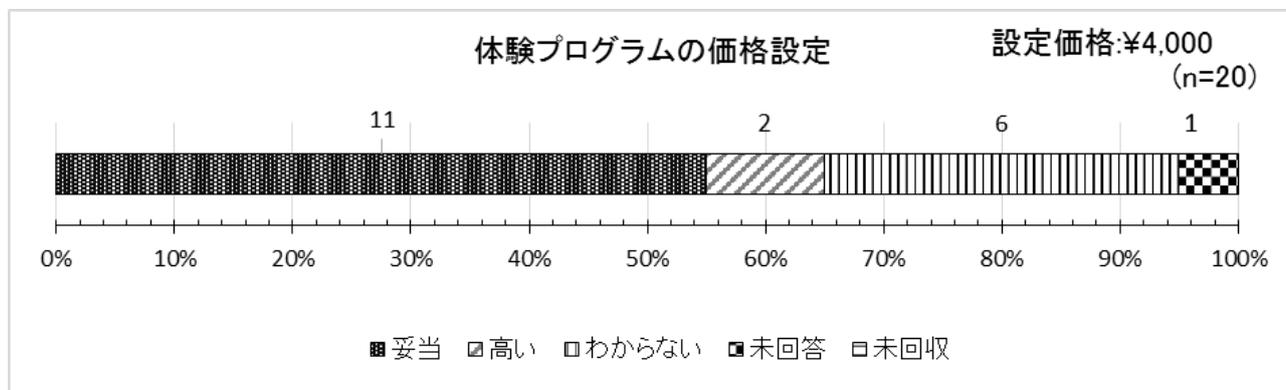
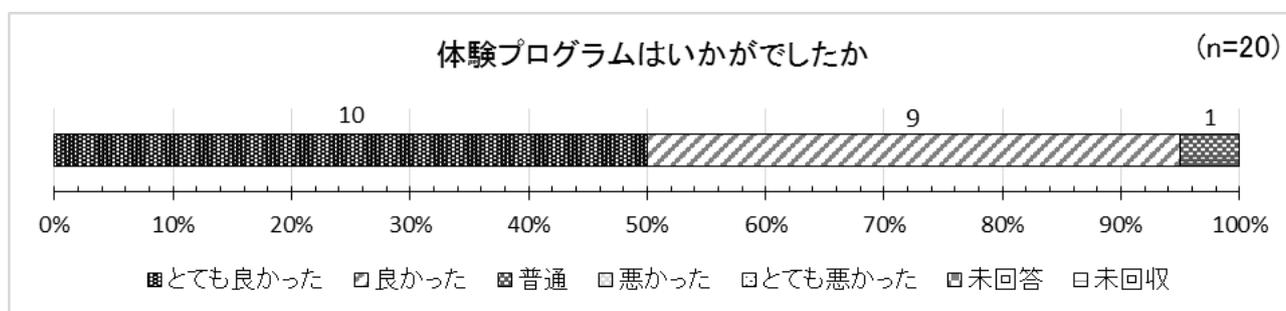
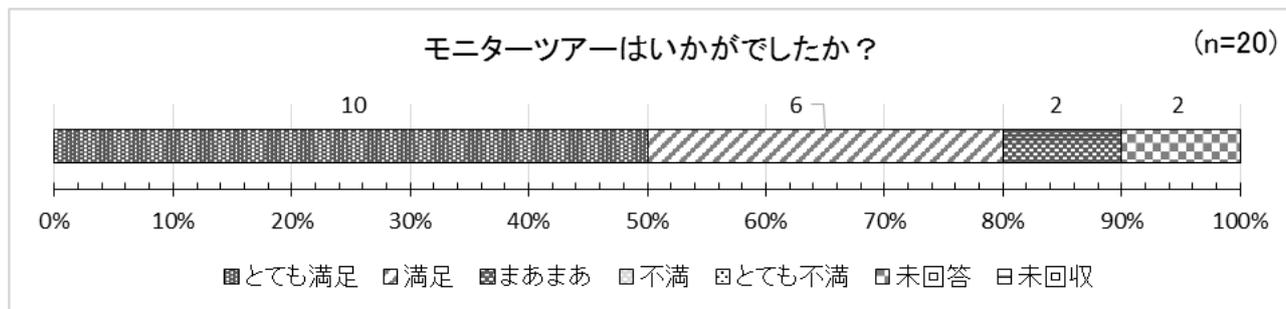
■成果

- ・体験の内容や安全管理の面からも島の人達が活躍できるプログラムが造成できた。

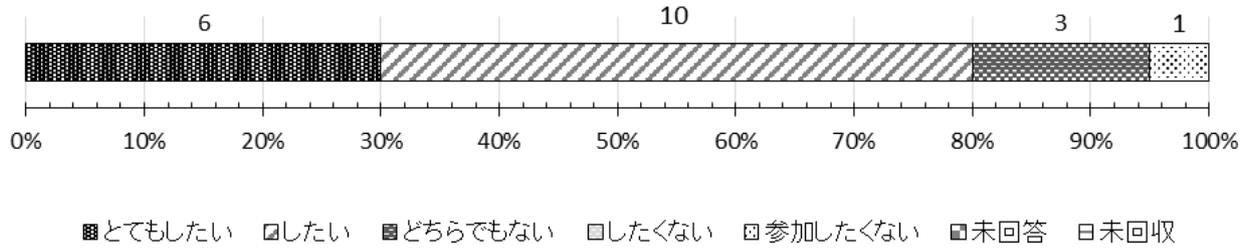
■課題

- ・寒い時期の実施だった事もあり、プログラム実施時期の見直しを求める声があった。

モニターアンケート結果：



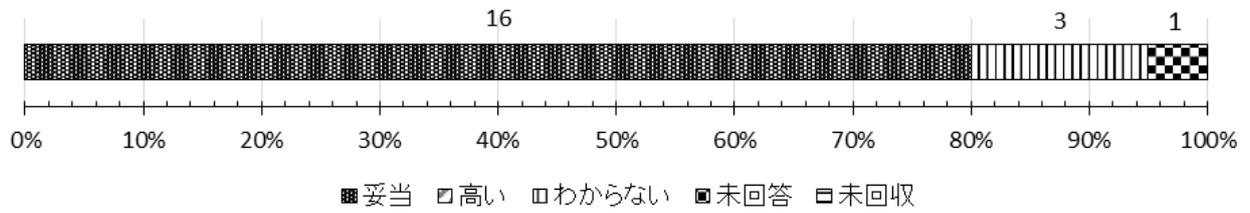
夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=20)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000

(n=20)



3. 沖縄の野草を再発見！野草収穫と料理体験

ツアー紹介文：

島のガイドと一緒に山を散策しながら、食べられる野草を収穫し、収穫した野草は島の人達と一緒に料理します。島の人達の知恵に、驚きと新しい発見に溢れた時間になるでしょう。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	【島紹介】
	16:30	宿泊先チェックイン
	18:30	夕食 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	朝食	
	8:40	プログラム会場へ移動
	9:00	【モニタープログラム】 沖縄の野草を再発見！野草収穫と料理体験
	12:00	終了
	13:00	昼食 会場：海産物料理海漁 フリータイム
	18:30	【夕食交流会】 会場：田名公民館
20:30	終了 (宿泊：島内民宿)	
3 日 目	朝食、チェックアウト	
	9:00	【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



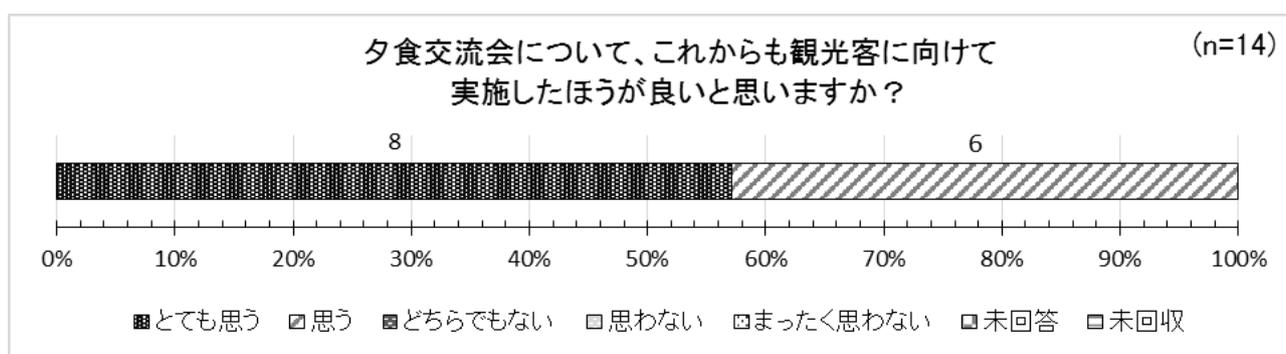
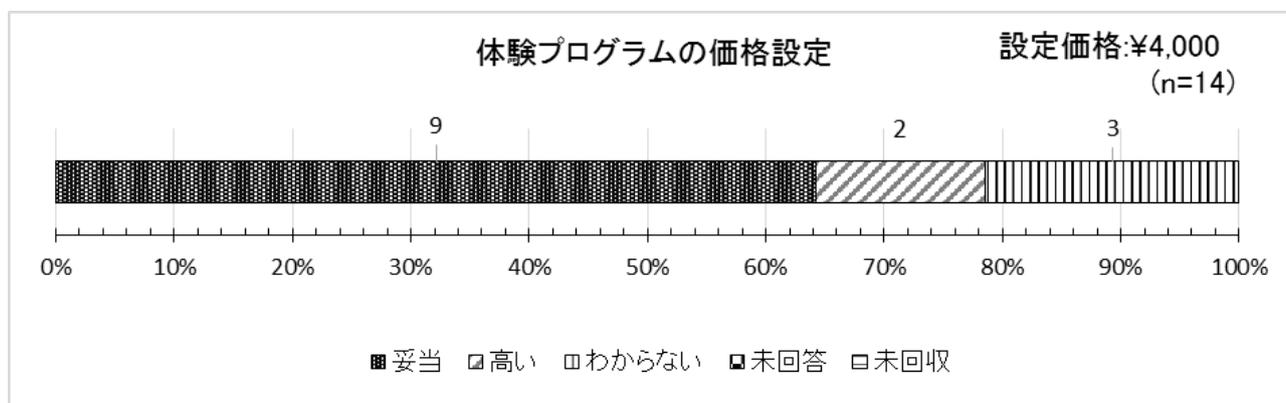
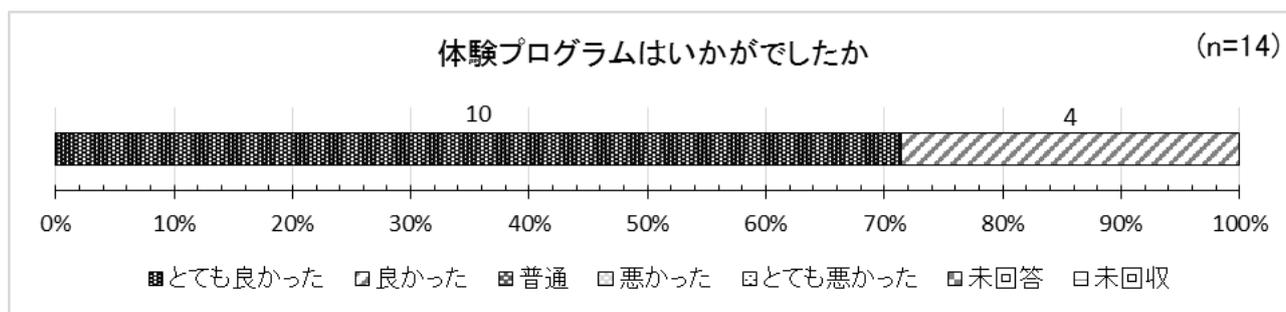
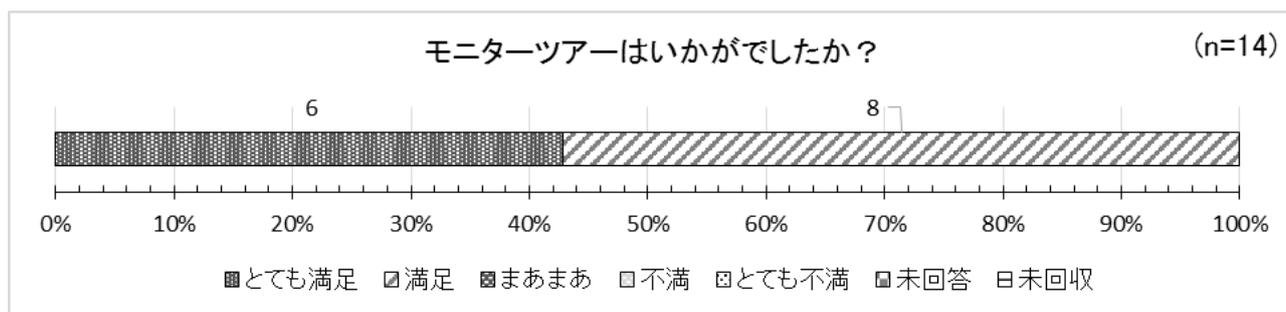
■成果

- ・島の人の知識や心遣い、島の自然が存分に活かされたプログラムの造成ができた。

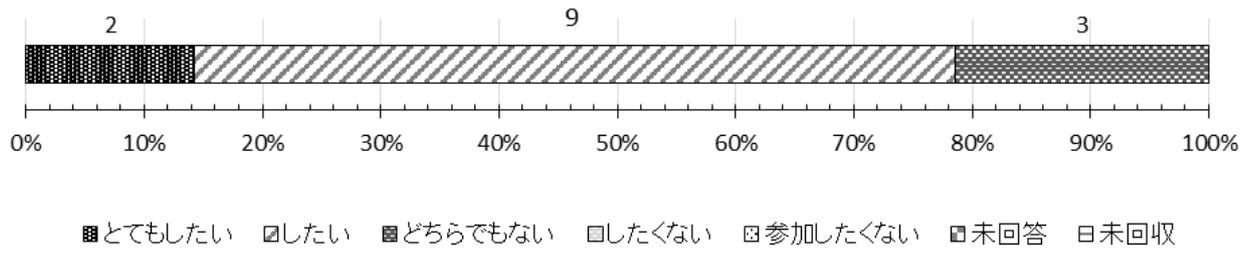
■課題

- ・野草の名前や調理方法が明記されたパンフレットなどを準備する事で、参加者の満足度をより高める事ができるのではないか。

モニターアンケート結果：

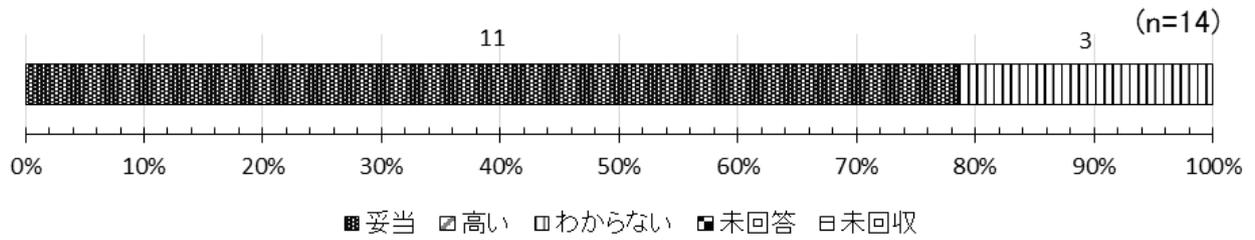


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=14)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000



4. 腰岳林道散策(島のスイーツを休憩で食べる)

ツアー紹介文：

島のガイドから動植物の説明を受けながら、林道の中を散策します。途中休憩の際には、島のスイーツもご用意しました。爽やかな秋風を感じながらの散策で、心身ともにパワーを充電しましょう。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	伊平屋村内観光
	16:30	宿泊先着、チェックイン
	19:00	夕食 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	8:40	朝食 プログラム会場へ移動
	9:00	【モニタープログラム】腰岳林道散策（島のスイーツを休憩で食べる） 終了
	13:30	昼食 会場：海産物料理 海漁 フリータイム
	19:00	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了 (宿泊：島内民宿)
	3 日 目	
9:00		【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
10:30		終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
12:30		ターミナル集合
13:00		前泊港よりフェリーにて出発
14:20		運天港到着、解散

実施写真：



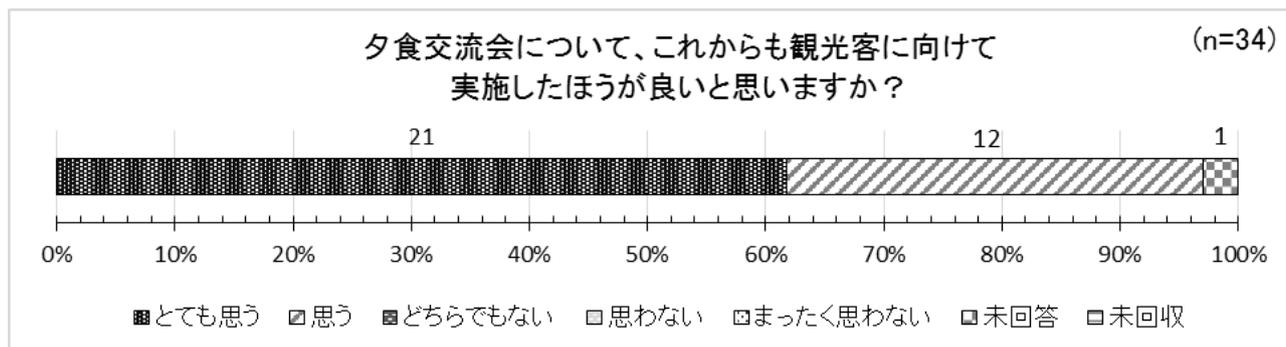
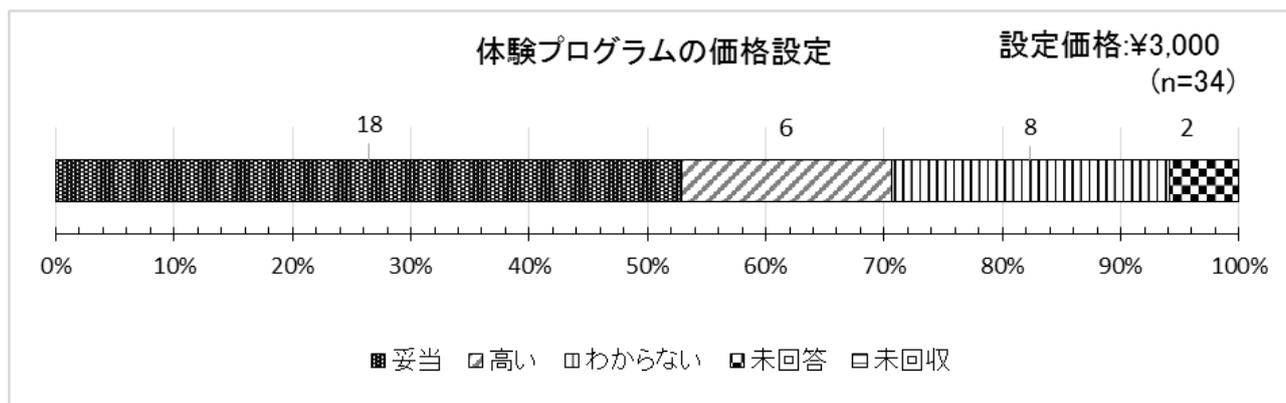
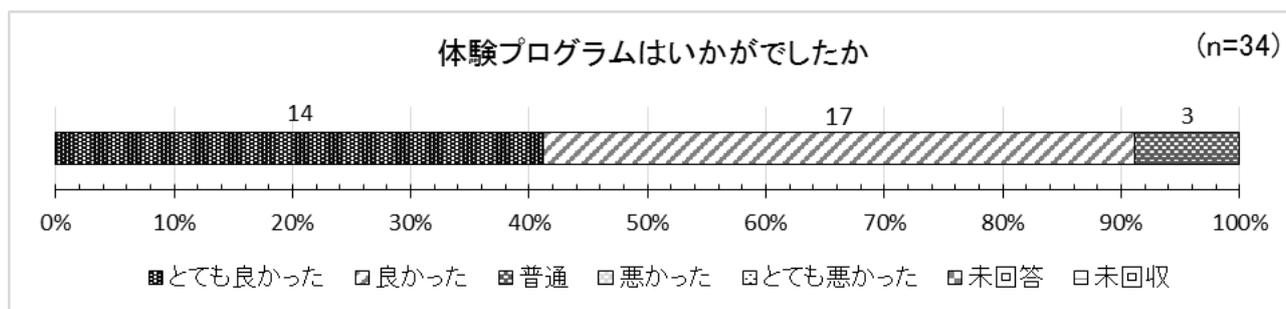
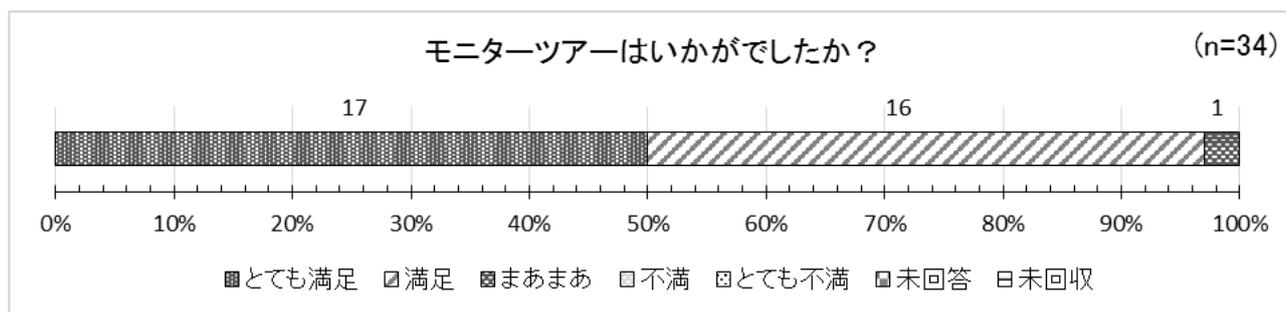
■成果

- ・伊平屋島の特徴である山を活用したプログラムを造成できた。
- ・複数回の実施を通じて、ガイドスキルが向上した。

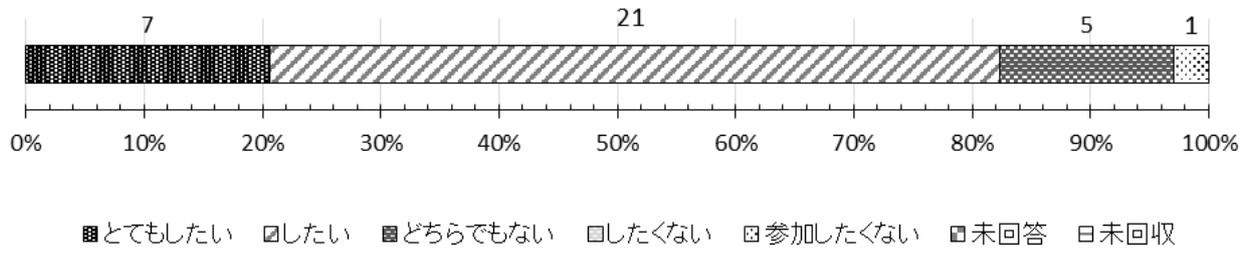
■課題

- ・参加者が想定していた内容とギャップがあった事から準備不足の参加者やプログラム参加が難しい参加者などがいた。プログラムとコースや持ち物などの事前情報の充実や健脚度などの注意事項の周知が必要

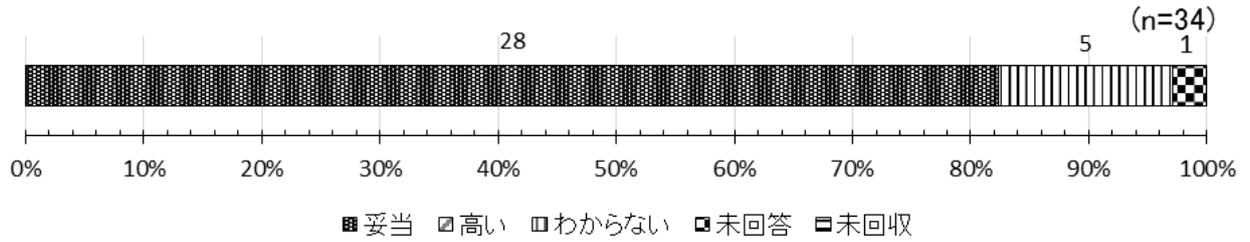
モニターアンケート結果：



夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=34)



夕食交流会の価格設定 設定価格:¥3,000 (n=34)



5. エメラルドの海からの恵み～伊平屋島で塩づくり体験～

ツアー紹介文：

透明度抜群の伊平屋島の海水をくみ上げ、火をかけながら時間をかけて丁寧に作られる伊平屋島の塩づくりを体験できます。出来上がった塩は、伊平屋焼きの小壺に入れて持ち帰る事が出来ますので、ご自宅でのお料理にお使い下さい。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	【島紹介】
	16:30	宿泊先チェックイン
	18:30	夕食 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	8:40	朝食
	9:00	プログラム会場へ移動 【モニタープログラム】エメラルドの海からの恵み～伊平屋島で塩づくり体験～ 会場：田名公民館
	11:30	終了
	12:00	昼食 会場：海産物料理海漁 フリータイム
	18:30	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了 (宿泊：島内民宿)
3 日 目	9:00	朝食、チェックアウト 【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	12:30	ターミナル集合
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



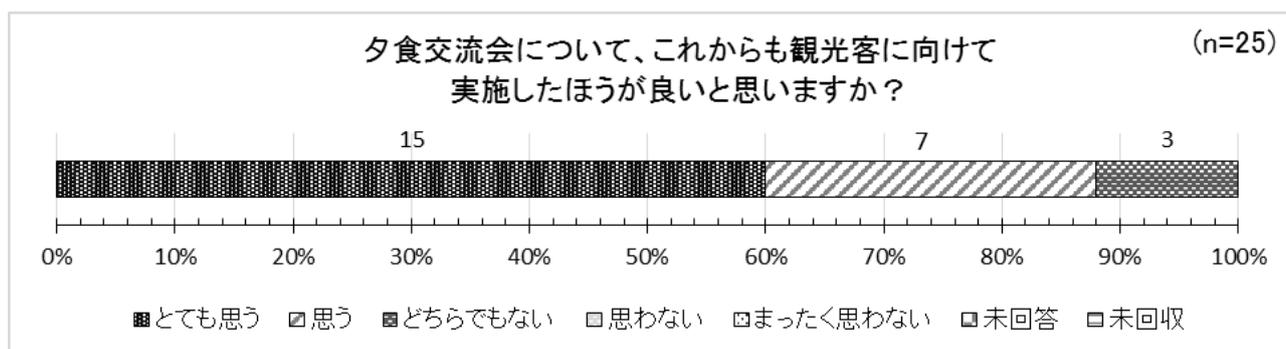
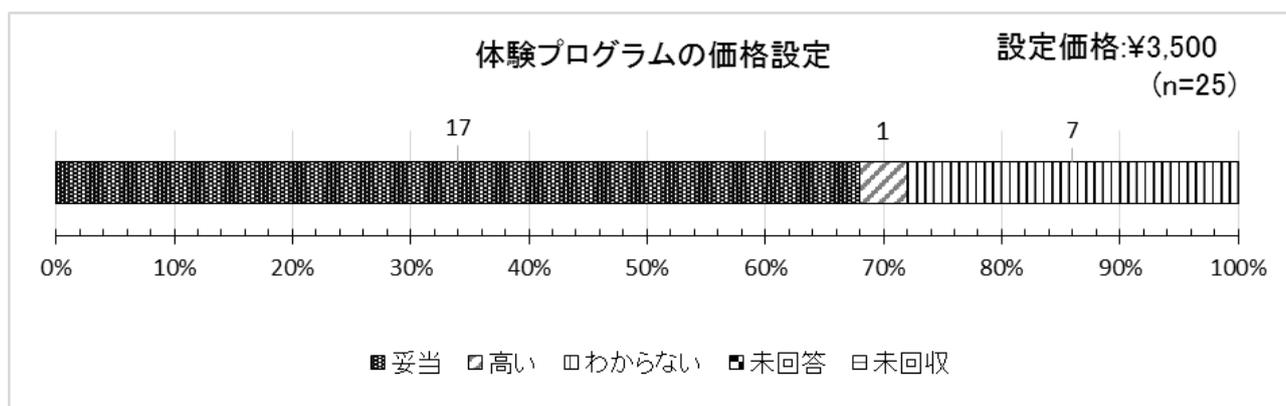
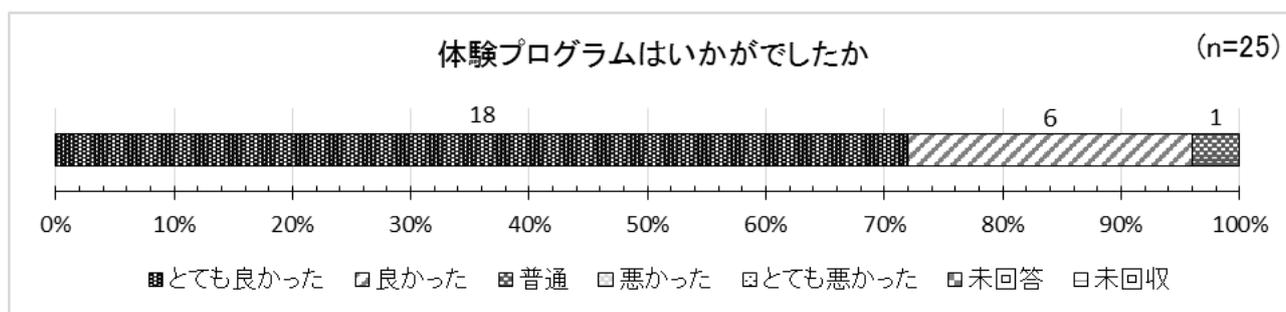
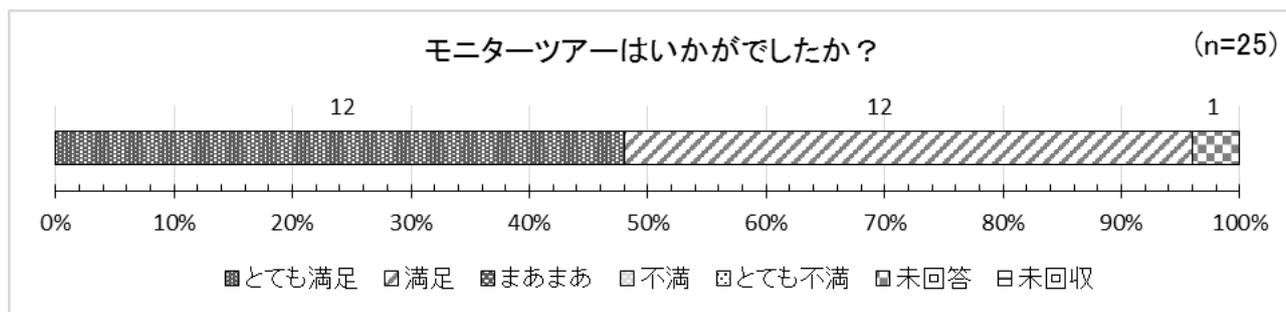
■成果

- ・長時間にわたるプログラムであるため、作業を通して島の人達や参加者同士の交流が深まったとの声があった。

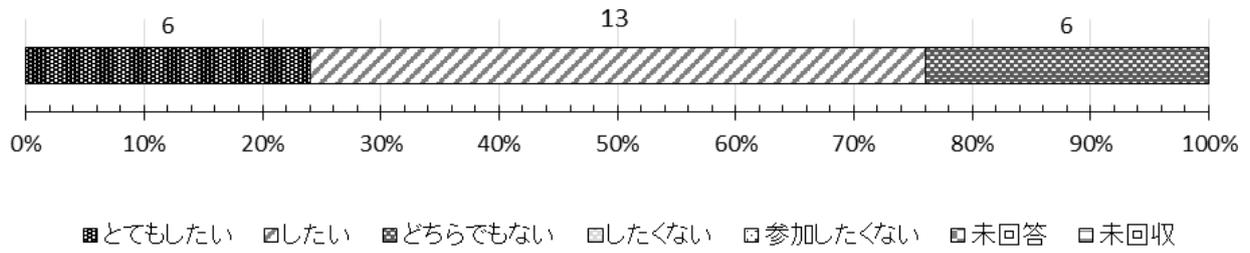
■課題

- ・上記成果があがった反面、長時間実施でも満足度を高める環境づくりや流れを再検討する必要がある。(椅子の準備や昼食のとり方など)

モニターアンケート結果：



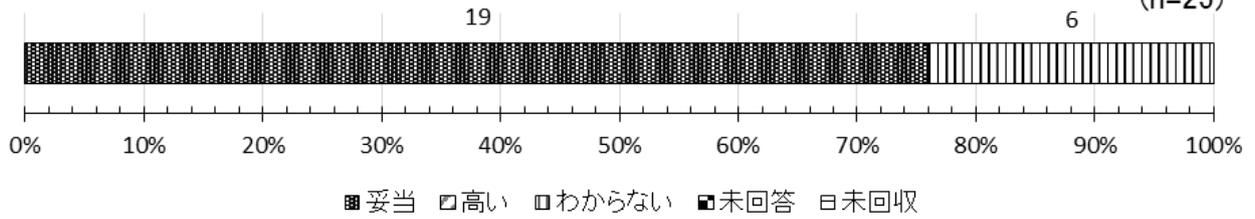
夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=25)



夕食交流会の価格設定

設定価格: ¥3,000

(n=25)



6. 島時間を満喫～島のガイドとぶらり集落さんぽ～

ツアー紹介文：

伊平屋村は伊平屋島と野甫島の2島から成り、5つの集落で形成されています。その中でも、我喜屋集落と島尻集落は、昔ながらの村並が残っています。島のガイドが伊平屋島の魅力を存分に語ってくれます。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	【島紹介】
	16:30	宿泊先チェックイン
	18:30	夕食
		(宿泊：島内民宿)
2 日 目	9:00	朝食 【モニタープログラム】 島時間を満喫～島のガイドとぶらり集落さんぽ～ 会場：田名集落
	11:30	終了
	12:00	昼食 会場：海産物料理 海漁 フリータイム
	18:30	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了
3 日 目	9:00	朝食、チェックアウト 【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



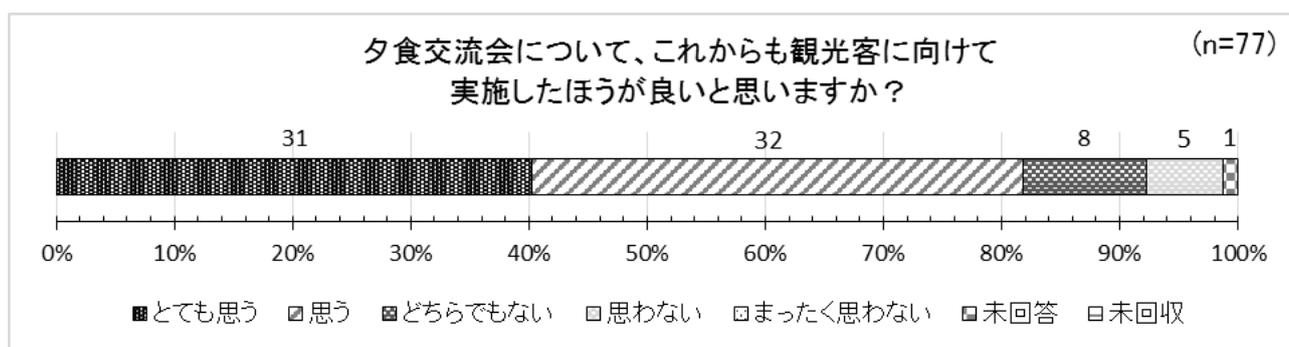
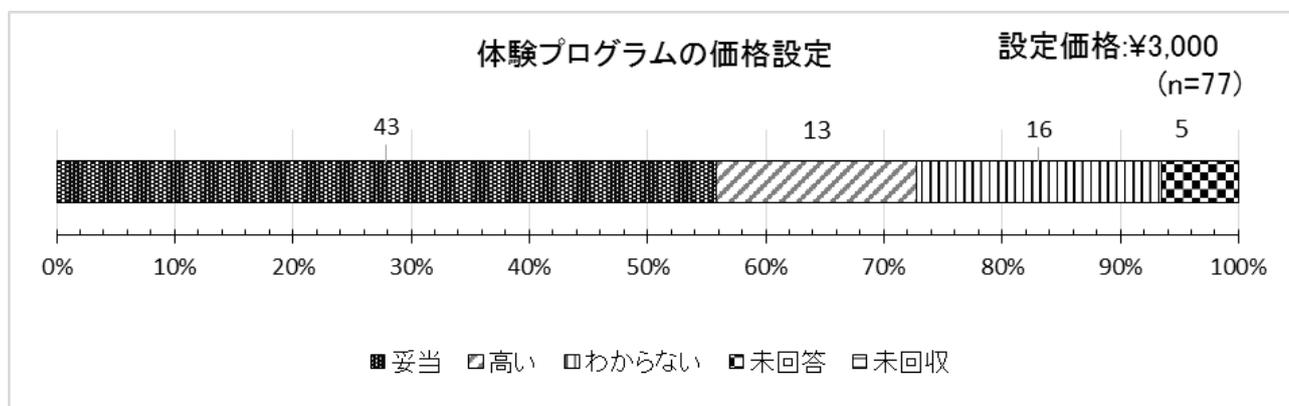
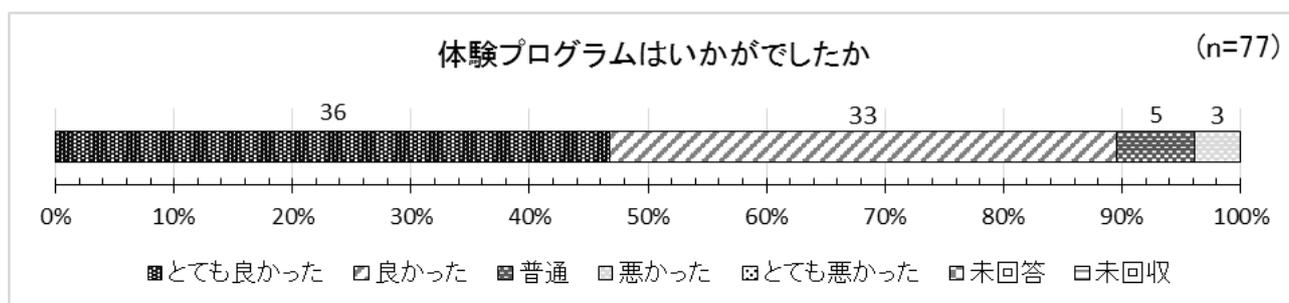
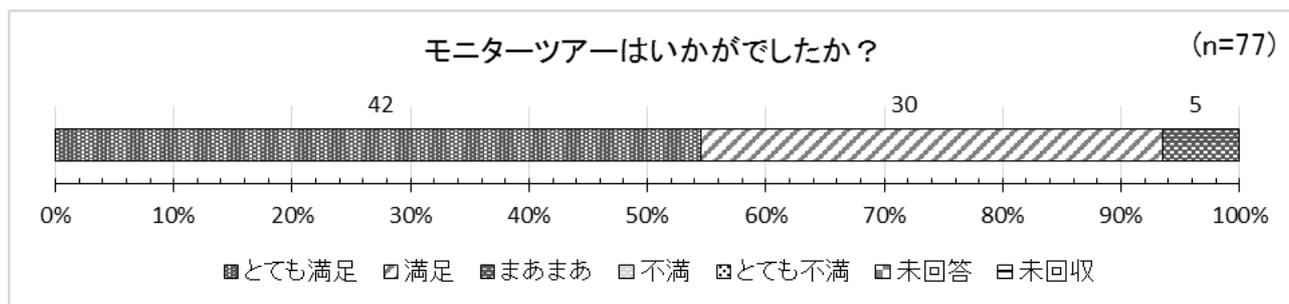
■成果

- ・昔ながらの集落の歴史や文化・知識等が活かされた伊平屋ならではのプログラムとなった。
- ・複数回の実施を通じて、ガイドスキルが向上した。

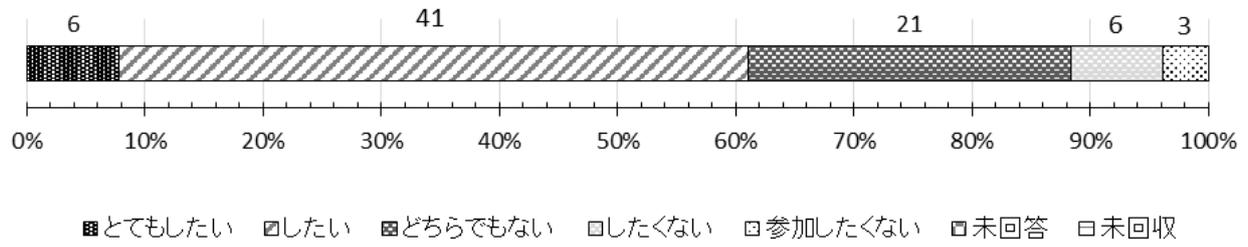
■課題

- ・大人数で実施する際の説明方法の工夫や年齢・健脚度に配慮したコースづくりが必要。

モニターアンケート結果：

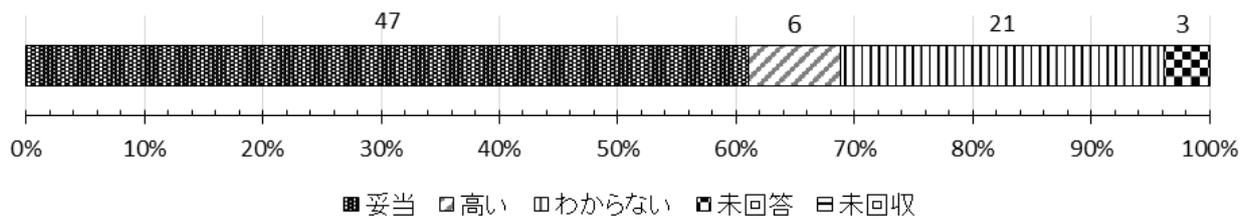


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=77)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000 (n=77)



7. 美しい海の恵みを満喫！ミネラルたくさんの島マースづくり&ゆし豆腐づくり

ツアー紹介文：

驚くほど透明度抜群の伊平屋島の海水をくみ上げ、大きな鍋で島マース(塩)とゆし豆腐をつくりま
す。ゆったりと流れる島時間と島の人達とのゆんたく、できたてのゆし豆腐をお楽しみください。
ご自宅用のお土産も付いてきます。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	【モニタープログラム】 場所：田名公民館 美しい海の恵みを満喫！ ミネラルたくさんの島マースづくり&ゆし豆腐づくり
	17:30	終了、片づけ
	18:00	【夕食交流会】 会場：田名公民館
20:00	終了 (宿泊：島内民宿)	
2 日 目		朝食、チェックアウト
	9:00	【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース (意見交換・アンケート)
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



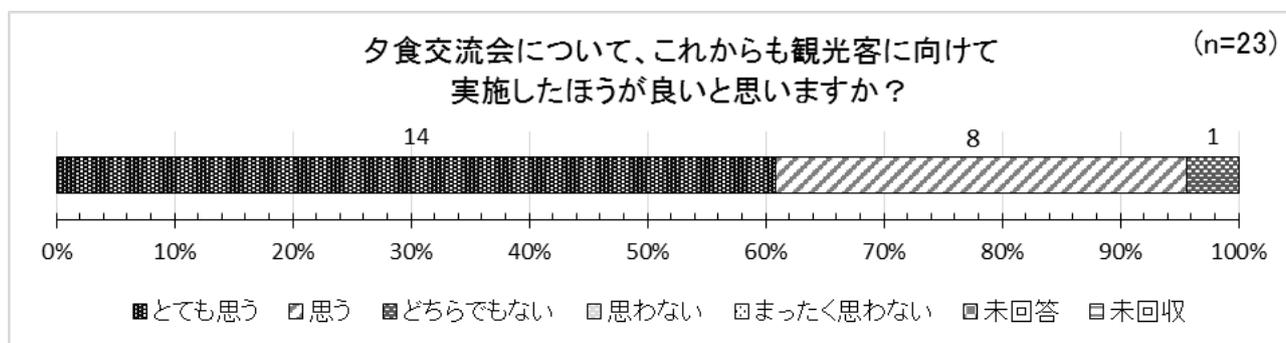
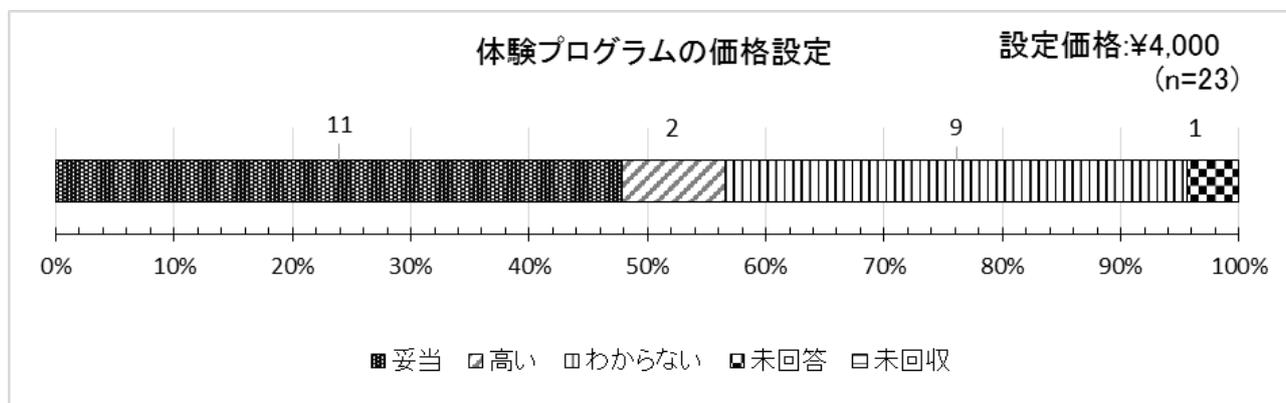
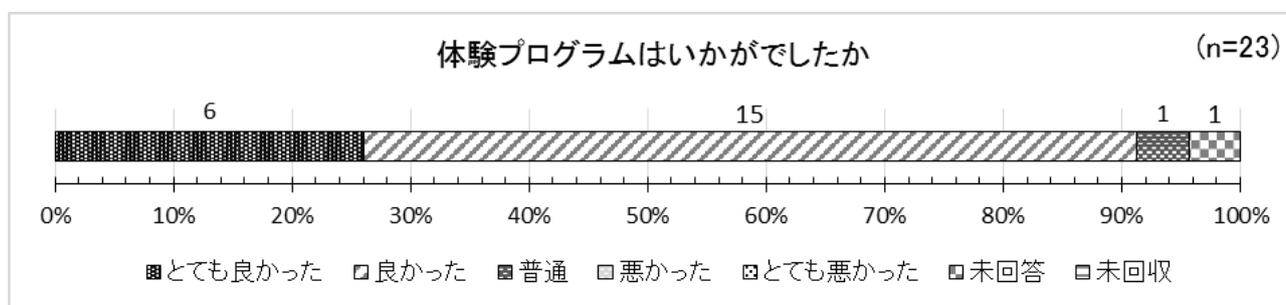
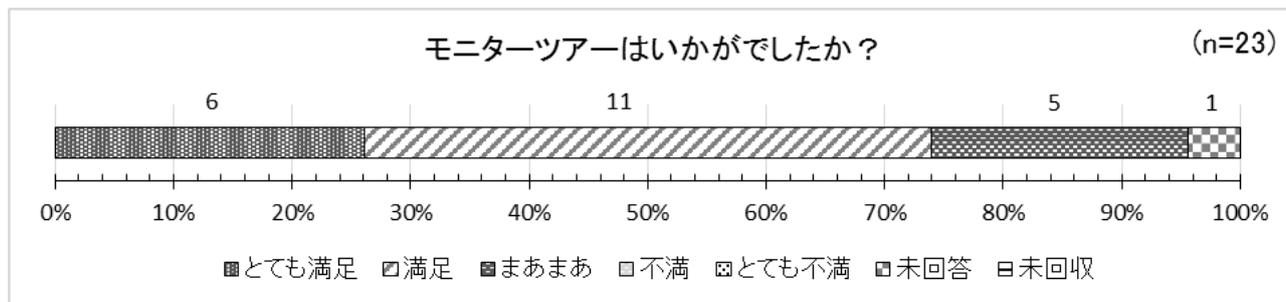
■成果

- ・満足度を高めるため伊平屋焼のツボを付ける等、参加者の満足度を高める工夫がみられた。

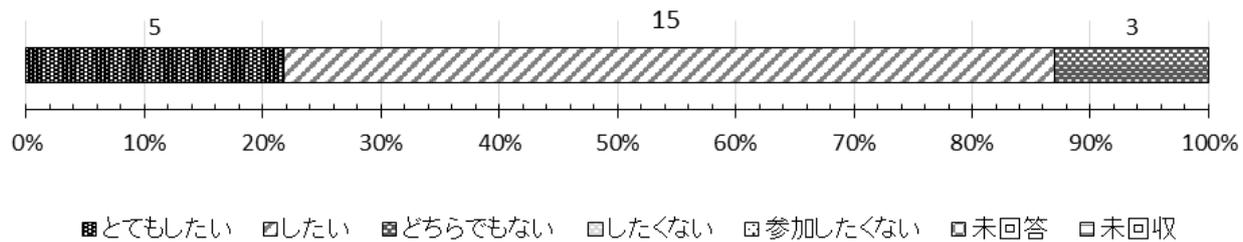
■課題

- ・体験部分が少なかったという声があがっていたため、充実が必要。

モニターアンケート結果：

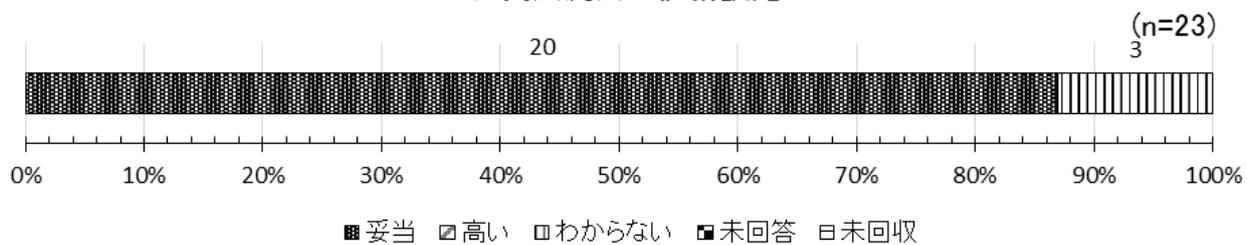


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=23)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000



8. 島の自然の恵みがギュッと詰まった本格ピザづくり体験

ツアー紹介文：

遠赤外線を発生し、消臭効果も高い白炭。島の木々を利用し、白炭づくりを体験します。白炭づくりの後には、島の食材をトッピングしたピザを作り、本格的なピザ窯を使い、焼き上げます。作ったピザは夕食交流会でいただきます。島の自然の恵みが詰まったピザは、きっと格別の味です。

行程表：

日	時間	行程
1 日目	10:10	集合
	10:25	【結団式】事業説明、諸連絡など
	11:00	運天港よりフェリーにて出発
	12:20	前泊港 到着、コーディネーターと合流 昼食 会場：食事処みなと
	13:40	【オリエンテーション】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	14:30	【モニタープログラム】島の自然の恵みがギュッと詰まった本格ピザづくり体験
	17:30	終了、片づけ
	18:30	【夕食交流会】 会場：田名公民館
	20:30	終了
(宿泊：島内民宿)		
2 日目		朝食、チェックアウト
	9:00	【振り返りゆんたく会】 会場：産業連携拠点センター共用スペース
	10:30	終了、アンケート回収 フリータイム、昼食
	13:00	前泊港よりフェリーにて出発
	14:20	運天港到着、解散

実施写真：



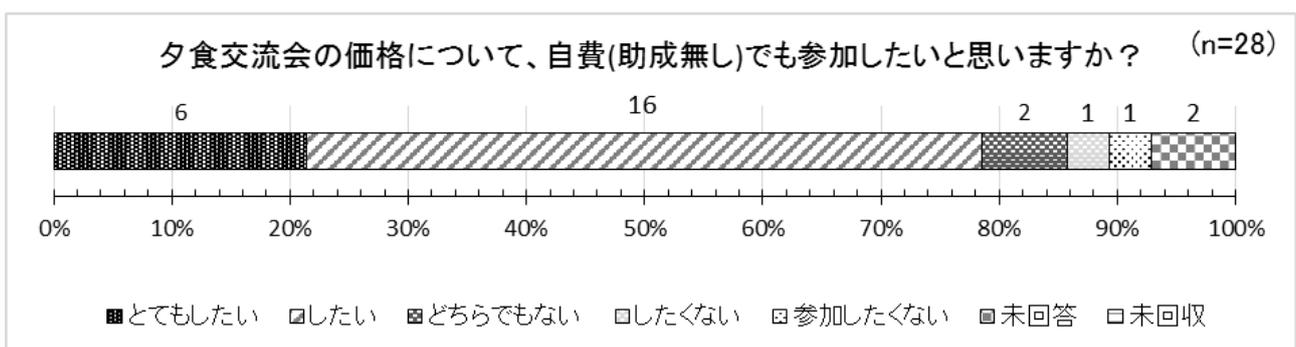
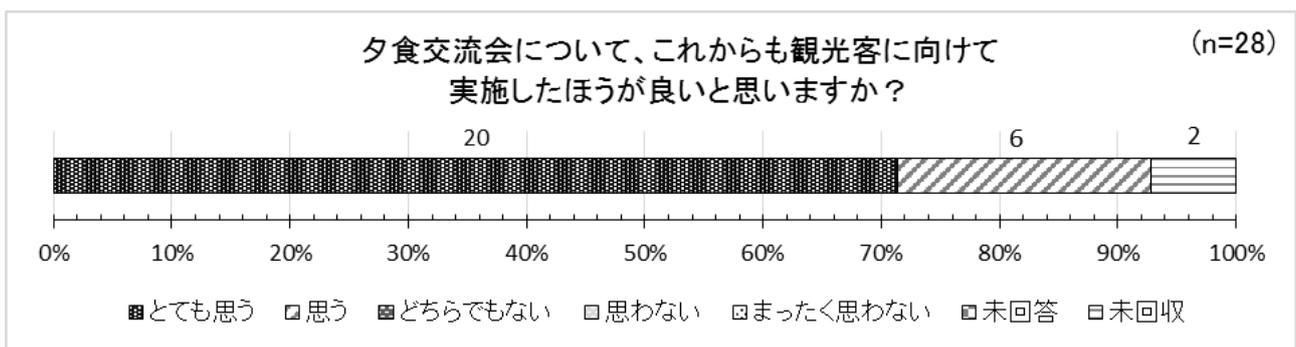
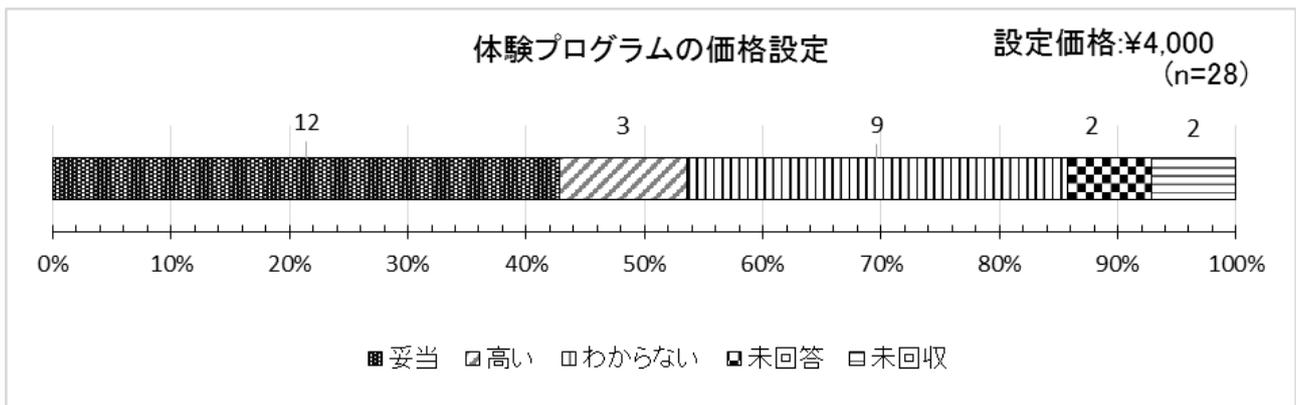
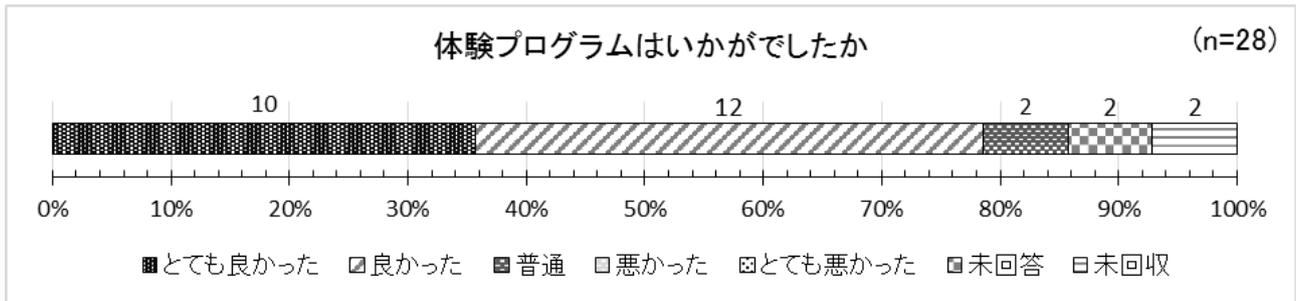
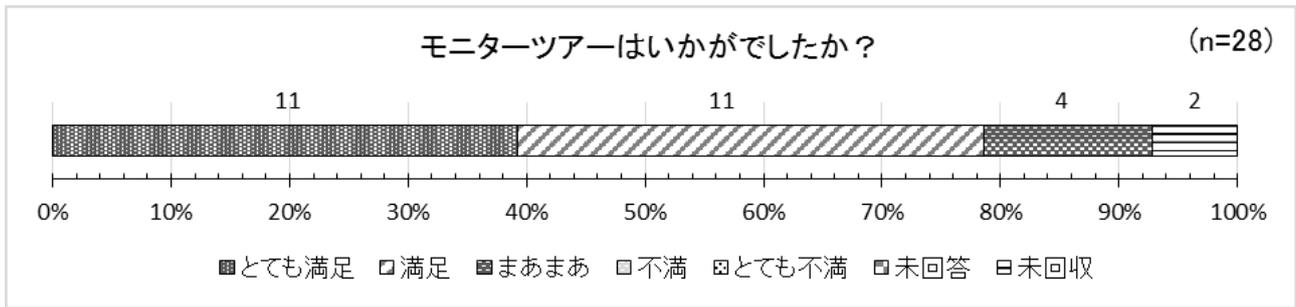
■成果

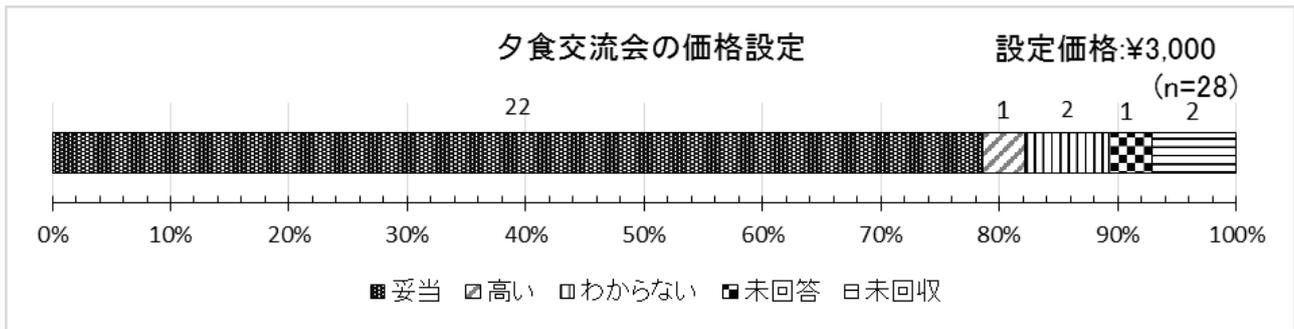
- ・野草採集とピザ作りなど体験と島の自然の魅力が詰まったプログラムとなった。

■課題

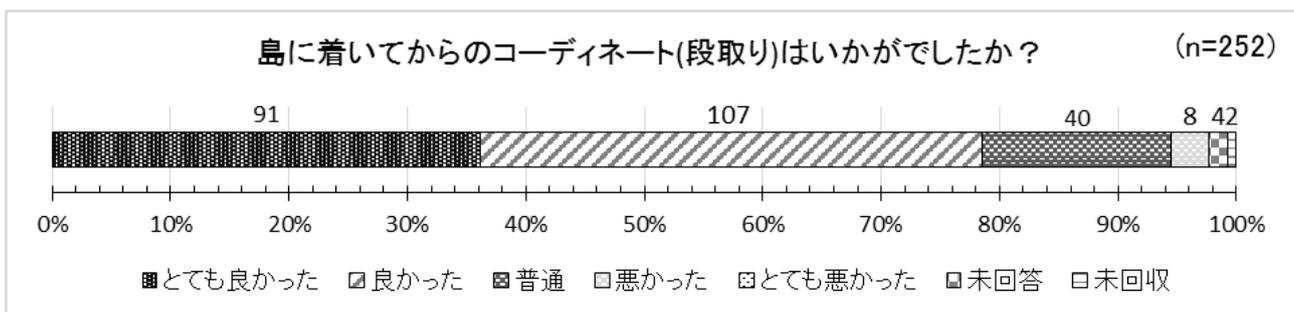
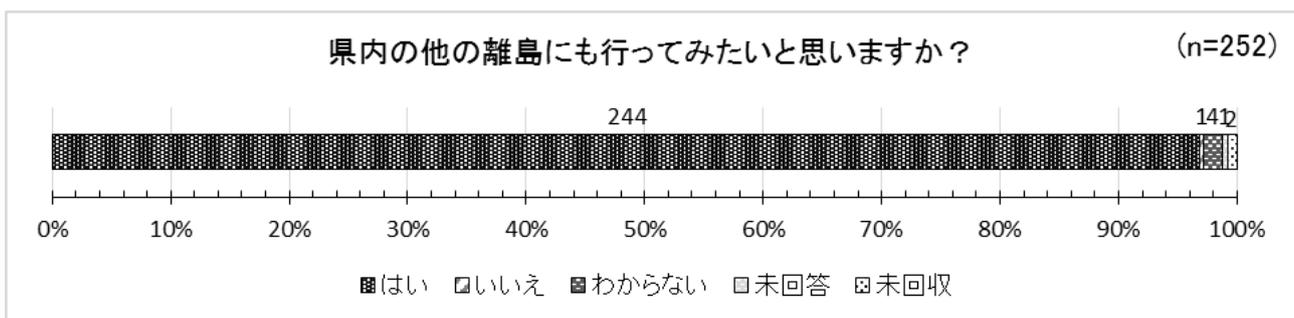
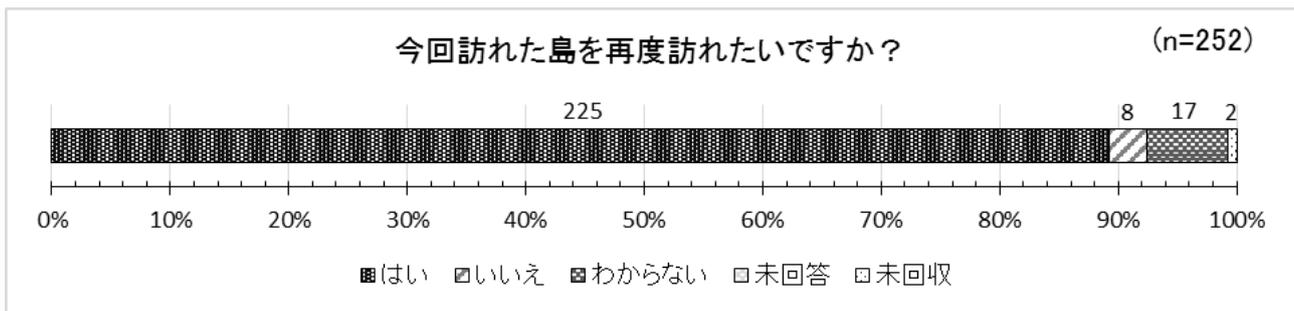
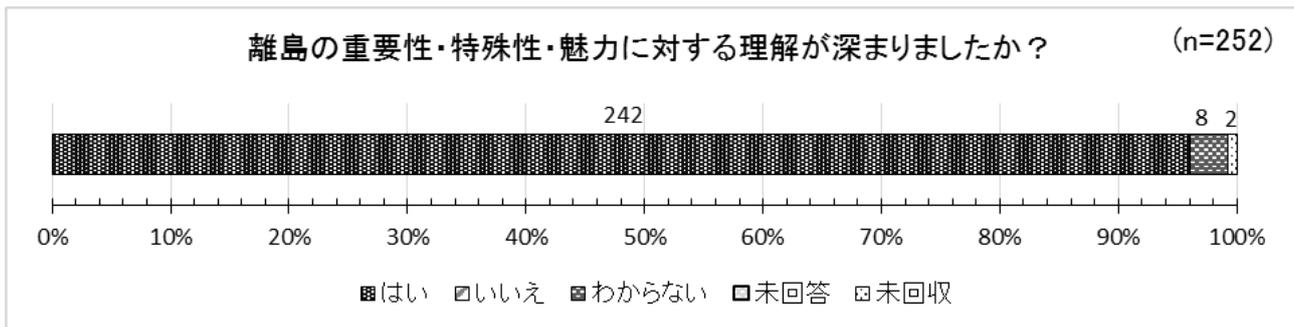
- ・雨天時や寒い日を想定した会場づくりを検討する必要がある。

モニターアンケート結果：



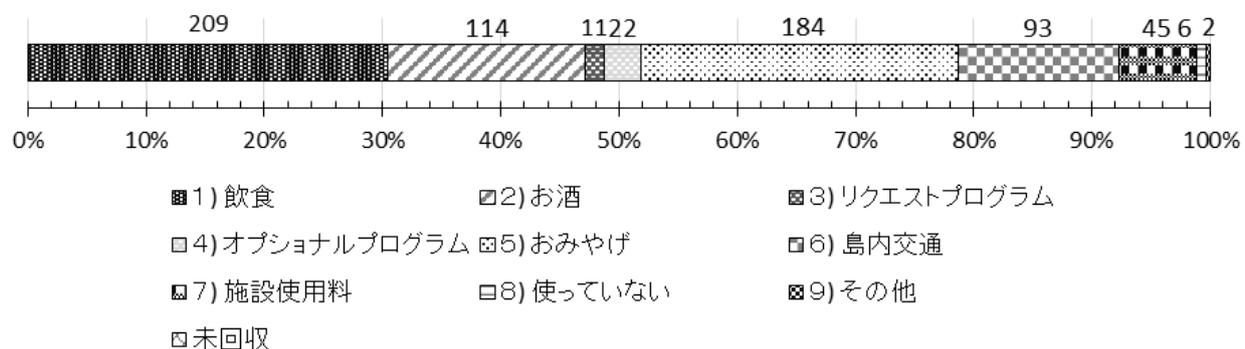


第5項 島に関するアンケート結果



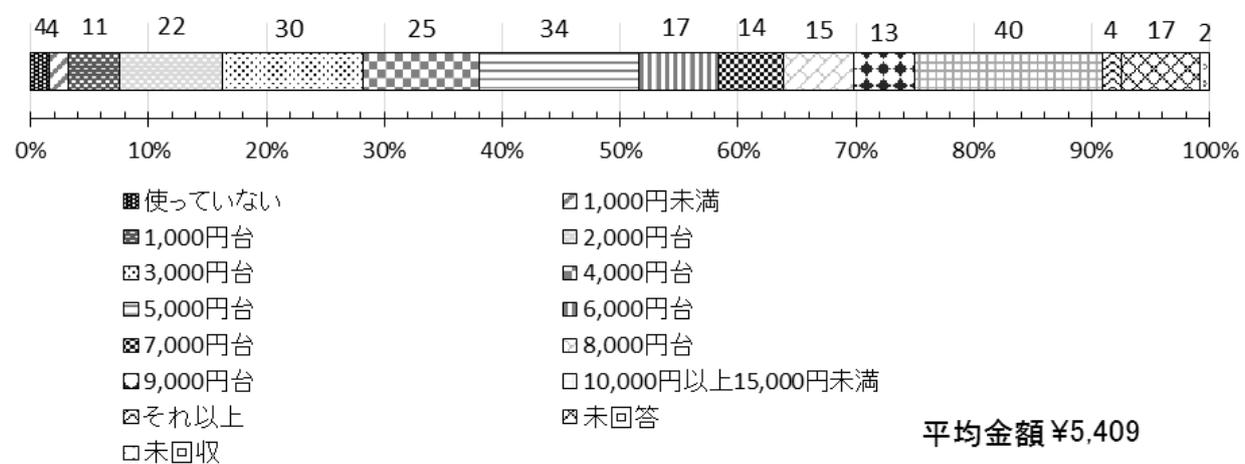
何に対してお金を使いましたか

(※複数回答可)



使用した合計金額

(n=252)



第6項 島の声

- ・島の風景などがモニターから好評だったが、地域の人達との交流が一番評価が高かった。
- ・本年度参加者から「来年は本土の友達を連れて行く」との連絡も早速あり、リピーターに繋がる動きが出ている。
- ・モニターの反応や発言から、旅行者が求めるものについてのポイントも分かってきたので、今後の取り組みに活かす事ができるノウハウが蓄積する事ができた。
- ・複数回の受入れを通じて、島のガイドのスキルも向上しており、今ではガイドから様々なアイデアが出てくるようになり、意欲も高まっている。
- ・プログラムの適正人数の検討や内容や流れの試行を複数回行う事ができ、プログラムの商品化に向けた取り組みに繋げる事ができている。
- ・夕食交流会は島の素材を活かした手づくり料理がとても好評であり伊平屋島の食のレベルの高さを再認識する事ができた。
- ・夕食交流会への地域の人達の参加が少なく、モニターからも、「もっと地域の人達と交流したかった」との声が挙がった。
- ・本年度は事業に関わった人達が少なかったため、次年度はお土産・特産品販売や飲食店、オプションプログラムの利用などを通して、より多くの人達が事業に関われるような取り組みを検討していきたい。

第7項 参加者の声

- ・伊平屋の豊かな風土が気に入りました。沖縄で最古という地層や岩、作物が良く育つという土、深い山に澄み切った青い海、どれも心が癒されました。それを現状維持しているのが凄いです。島や人々が明るい
- ・非常に良かった。飲食のおもてなし本当に感謝です。料理・自己紹介・皆さんの区の成り立ち・歴史・行事・生活の状況をととても詳細に説明して下さることにととても地域を愛し、幸せに生活している事がとても感動しました。
- ・島めぐりに深く体験を行えればと思います。名所めぐりだけでは物足りない。地元の方々との交流を通して、島の良さや苦勞などを合わせて感じたい。
- ・トイレの増設を希望します。名所旧跡の案内（QRコード）音声があれば良かった
自然の風景を残してもらいたい。コンセプトを作り、例えば「あなたが疲れた時この島で、あなたが悩んだ時この島で、あなたが、、、あなたのそばにある伊平屋島」のようなイメージです。
- ・離島での生活（特に台風等のたいへんさ）、過疎化の問題、活性化がいかに重要な事等学びました。自分たちでも何か協力できる事がもっとあるのではと感じました。

第8項 成果

初年度であった事やツアーの受入れ回数も多かった事もあり、当初は事前の段取りや手配、受入れ中の対応などについてコーディネート業務を負担に感じていた様子だったが、経験を重ねるに連れてノウハウの蓄積ができ、事業終了時にはスムーズに業務を進める事ができた。観光の受入体制の強化に繋がり、一般観光客の受入れに対するコーディネーターの自信の醸成にも繋がった。

また、プログラムガイドのスキルアップも特筆すべき点である。当初は準備やプログラム実施時にもコーディネーターのサポートが多かったが、徐々にガイド自身で考え、取り組める幅が増えてきた。ガイドからは「事業開始前の全体会議を開催し、H28年度の成果や課題を共有して欲しい」という声が出るほど意識が高まっている。

本年度の受入れを通して島の関係者が「事業の活用」についての意識が高まっているので、次年度は関係者が集まる機会を多く作る事で、「自走」に向けた動きが活発化してくるのではないかと期待している。

第9項 課題

次年度はプログラムガイドの安全管理に対する意識とスキルの強化をはじめ、ガイドが独自に全ての準備や進行が行えるようなスキルアップとコーディネーター業務の効率化に取り組み、継続的な一般観光客の受入れに向けた仕組みづくりに取り組んでいく必要がある。

宿泊施設に関する課題として、モニター参加者が施設の設備に損害を与えたと考えられる事例が発生した(当事者の主張が異なっている事や事実確認をするための宿泊者名簿がないため、事実確認は難しい状況)。今後はトラブルの回避をはじめ解決がスムーズに行えるよう、宿泊者名簿記入など受入側手順の徹底に取り組む必要がある。